平成２２年度　第３回大学院生命理工学研究科教授会議事要録

日　　時　平成２２年6月１6日（水）１５：０５～１５：５５
場　　所　大会議室（Ｂ２棟４２６号室）
出 席 者　北爪研究科長ほか４０名

配布資料
　３－１　兼担教員について
　３－２　平成２２年度授業関係について
　３－３　学生の異動について
　３－４　研究指導の委託について
　３－５　論文提出による博士の審査員指名について
　３－６　平成２２年６月大学院博士課程修了の認定及び学位授与について
　３－７　平成２３年度大学院生命理工学研究科修士課程の学内収容人員について
　２　東京工業大学と東京医科歯科大学との間における学生交流に関する覚書（案）
◎現在員６３名、公務出張等６名、定足数２９名に対し出席者４１名で教授会成立
◎前回議事要録（案）を承認した。

議事要旨
Ⅰ　審議事項
　１－１　兼担教員について
　　　研究科長から、資料3-1に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおりこれを承認した。
　１－２　平成２２年度授業関係について
　　　研究科長から、資料3-2に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおりこれを承認した。
　１－３　学生の異動について
　　　研究科長から、資料3-3に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおりこれを承認した。
　１－４　研究指導の委託について
　　　研究科長から、資料3-4に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおりこれを承認した。
　１－５　論文提出による博士の審査員指名について
　　　研究科長から、資料3-5に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおりこれを承認した。
　１－６　平成２２年６月大学院博士課程修了の認定及び学位授与について
　　　研究科長から、現在員６３名、公務出張等６名、定足数３８名に対し出席者４１名で定足数を満たしている旨報告があった。次いで、研究科長から、資料3-6に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおりこれを承認した。
　１－７　平成２３年度大学院生命理工学研究科修士課程の学内収容人員について
　　　研究科長から、資料3-7に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおりこれを承認した。
　２　寄附講座の設置について
　（１）生物プロセス専攻　量子生命科学技術創生寄附講座
　　　研究科長から、OHP資料１に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおりこれを承認した。
　３　各種委員会委員について
　　研究科長から、OHP資料２に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおりこれを承認した。
Ⅱ　諸　報　告
　１　教育研究評議会関係【第３回２２．６．４開催】
　　岡畑評議員から次の事項の審議概要等について説明・報告があった。
　（１）平成２１事業年度及び第１期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書について
　　　第１期中期目標期間における業務の実績に関連し作成した「生命理工学部、生命理工学研究科の現況分析における顕著な変化」を専攻長会議でお配りしているので、ご一読願いたい。
　（２）自己点検・評価報告書「東工大の今－Tokyo Tech Now 2010－」の作成について
　　　２００２年以来の作成になるが、１０００ページくらいのボリュームの自己点検・評価報告書を発行し、Ｗｅｂに掲載する予定である。
　（３）夏季一斉休業及びこれに伴う規則の一部改正について
　（４）平成２３年度非常勤講師枠の配分案について
　　　生命の非常勤枠は過去５年間変わっておらず、昨年度同様に学部４１、研究科７が措置される。

（５）学術国際情報センターの改組及びこれに伴う規則の一部改正について
既に実施された炭素循環エネルギー研究センターと同様に支援機能を伴うセンター改組の一環で学術国際情報センターが改組される。
（６）東京工業大学フロンティア研究機構規則の一部改正について
（７）東京工業大学ソリューション研究機構規則の一部改正について
特定有期雇用教員の称号付与について、部局と同様の手順にする改正。
（８）東京工業大学テニュア・トラック制度（改訂案）について
グローバルエッジのテニュアトラック制度が平成２２年度で終了するため、新たな改定案が策定された。
① 原則として講師または准教授相当の教員を専攻で採用し、３年目の中間審査、５年以内のテニュア審査を経て正規職員として採用する。
② 専攻から希望を募り各年度ごとに３名以内とし、専攻はポストを用意する。当初の３年間については人件費及び研究資金として一人当たり3,000万円を上限として支給する。
（９）平成２２年度全学科目に関する教育責任分担部局等の確認について
生命理工学部は、全学科目のうち、理工系基礎科目の生命科学を担当する。
(10) 世界文明センターの催しの一部有料化について
今まで無料で実施してきた講演会等の催し物を一部有料にする。本学の教職員・学生は無料、一般参加者を有料とする。
(11) 学長裁量ポストについて
(12) 学長裁量スペースの使用状況及び使用申請について
平成２１年度末現在の学長裁量スペースの使用状況についての報告。
(13) Make：Tokyo Meeting 05 の開催結果について
5 月 22 日～23 日に開催され、来場者数は 2 日間で約 7 千人と回を重ねる毎にも多くなり、人気のあるイベントとなっている。
(14) 各部局等における教員人事（専任講師以上）の報告について
(15) 教育研究に関する諸問題について
教員のハラスメントに対する処分に関し、教員から提訴がなされ、現在、処分について教員サイドと和解を進めている。
(16) その他
① 第５回大岡山蔵前ゼミについて
６月１８日（金）に開催される。
② 博士学生異分野交流フォーラムの開催について
６月５日開催のフォーラムで鳩山首相が講演され、５００人程の参加があった。

２ 部局長等会議関係
研究科長から、平成２２年度第４回及び第５回の審議事項の概要等について説明報告があった。

【第４回２２．５．２１開催】
（１）学術国際情報センターの改組について
（２）各部局の平成２２年度活動計画について
（３）夏季の一斉休業を活用した省エネ対策について
（４）新図書館について
（５）東工大ITサービスデスクの開始について
（６）平成２２年度東工大特別賞について
（７）東工大蔵前会館（ＴＴＦ）中央広場 庇（ひさし）ルーバーの一部落下について
（８）夏季における省エネルギーについて
（９）Art at Tokyo Tech 2010 Spring and Summerの開催について
(10) 平成２２年度第３２回すずかけ祭及びオープンキャンパス実施報告について
(11) 日常書面監査（１月～３月）について
(12) 奨学寄付金受入審査会における受入金額の推移について
(13) 平成２２年度研究助成等一覧（H22. 4.23～H22.5.13受付分）について
(14) 部局等の現状と問題点について
(15) その他
① 学生のための推薦図書について

【第５回２２．６．４開催】

（１）各部局の平成２２年度活動計画について
（２）安全保障貿易管理に係る運用の変更及びホームページの開設について
（３）学科・専攻の一部個人情報を含む記録媒体の紛失事故について
（４）監事監査報告書への対応について
（５）セブン・イレブンの営業時間短縮について
（６）管理下にない放射性同位元素等に関する一斉点検（中間報告）について
（７）エネルギー環境イノベーション棟建設に伴う交通動線の変更について
（８）研究情報部の改組について
（９）新キャンパスネットワークへの支線移行期限について
（10）平成２２年度手島記念研究賞の募集について
（11）平成２２年度研究助成等一覧（H22.5.14-H22.5.27受付分）について
（12）部局等の現状と問題点について
（13）その他

①　東工大評価室ニューズレター第２号について

３　本研究科関係

（１）割愛について

研究科長から、OHP資料３に基づき報告があった。

４　その他

（１）研究科長から、新図書館の設計図が提示されたので、閲覧をご希望の方は事務へご連絡願いたい旨の報告があった。

（２）研究科長から、久能めぐみさんが、平成２２年度東工大特別賞を受賞され、５月２６日（水）の「職員等の栄誉の祝賀会」において表彰を受けた旨の報告があった。

（３）研究科長から、５月１４日（金）にTTFの庇（ひさし）ルーバーが落下し、けが人等は無かったが、かなり重たいもので、まだ網が掛かっている状態ないので、近くを通る際は注意願いたい旨の依頼があった。

（４）研究科長から、安全保障貿易管理に係る運用のホームページが開設されたのでご覧願いたいこと及び問題等があれば国際部へ相談願いたい旨の報告があった。

（５）研究科長から、本学教員が、帰宅途中に電車の中で試験の成績など学生の個人情報を含むデータの入ったパソコン等を紛失するという重大な事故があった旨の報告があり、併せて、個人情報の厳重な管理とパスワードの設定を徹底されるよう要請があった。

（６）研究科長から、監事監査報告書への対応が出されたのでご一読願いたい旨の依頼があった。

（７）研究科長から、大岡山キャンパスのセブンイレブンが、夜間の利用者減に伴い営業時間を短縮した旨の報告があった。

（８）研究科長からワンストップサービスの向上を図るなどのため、７月１日付けで研究情報部が改組される旨の報告があった。

（９）研究科長から、平成２２年度手島精一記念研究賞の募集が６月４日から始まったので応募願いたい旨の報告があった。

（10）研究科長から、OHP資料４に基づき、東京都の温室効果ガス排出量削減条例に対処するため、８月１２日から１５日の４日間夏季一斉休業期間を設け、この間の出勤及び登校が原則禁止となるので、以下についてご留意頂き、ご協力及び研究室内へ周知をお願いしたい、また、どうしても出勤しなければならない事情があれば学長と相談するのでお知らせ願いたい旨の依頼があった。

①　この間、職員は、真にやむを得ない場合（実験動物の飼育等）以外は出勤しないこととし、学生にあっては、学内での各種活動（実験、行事、サークル活動等）は停止する。

②　実施する省エネ対策として、ＯＡ機器類・電化製品等・実験機器類の電源ＯＦＦ、エレベータなどの共通設備の停止を行う。

③　出勤する場合は研究科長の許可が必要になる。

④　学生は登校禁止なので、動物への餌は職員が行うこと

⑤　８月１２日、１３日は届出不要の特別休暇となる。

（11）研究科長から、（財）日本盲導犬協会からすずかけ台地区安全衛生委員会あてに盲導犬育成訓練に協力願いたい旨依頼があり、同委員会でお昼休み時間と夕方にキャンパス内での訓練を許可したのでご承知おき願いたい旨の報告があった。

(12) 研究科長から、化学物質の数量指定倍数の調査を事務から行っているが、超える分があれば危険物倉庫へ整理願いたい旨の要請があった。

(13) 研究科長から、平成２３年度概算要求に関し、グローバルドクター教育院（仮称）の設置と博士の定員増を要求しており、その中で生命は９名を要求していること、また、ライフイノベーション教育研究機構を総合理工学研究科と生命理工学研究科を中心とし全学的な協力を得て設置要求する旨の説明があった。

(14) 三原教授から、博士一貫教育プログラムの取り扱いに関して、文科省予算が今年度限りとなるため、①編入生募集は１０月１日の編入生で終了、②平成２３年度の募集は時期がずれ、遅れる可能性がある、③本学としてはドクターの支援を続けていく、④新制度が決定した時点で学生に不利にならないようにする、ことについて学生へ周知方願いたい旨依頼があった。

(15) 三原教授から、７月１３日午後にスイス連邦工科大学ローザンヌ校（ＥＰＦＬ）の学生６５名と引率の教員５名が本研究科を訪問し、本研究科の学生と交流会議を行うことになっており、その際各研究室見学も計画しているので、ご協力願いたい旨の依頼があった。

(16) 一瀬教授から、Ｗｅｂによる授業評価の施行のご協力に対し、謝辞があり、また、Ｗｅｂによる授業評価のアンケート回収率は紙による調査とほぼ同じであったこと、実施時期について引き続き授業評価ワーキングで検討を行い、当面は紙による授業評価をしていくことになった旨の報告があった。